

令和2年度宮城県国民健康保険運営協議会（第3回）会議録

- 日 時：令和3年2月10日（水）午後2時から午後2時55分まで
- 場 所：宮城県行政庁舎4階庁議室
- 出席委員：9名（小坂委員（会長）、鹿野委員、佐藤（幸）委員、板橋委員、佐藤（勝）委員、加茂委員、木下委員（Web）、成田委員、藤代委員（Web））
 - ※Web：Web 会議システムより出席
 - ※欠席：丹野委員、村田委員
- 事務局：保健福祉部（伊藤部長、柴田国保医療課長）

1 開会	
林副参事	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日司会を務めます宮城県保健福祉部国保医療課 課長補佐の林でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第3回宮城県国民健康保険運営協議会を開会いたします。</p> <p>本日の協議会は、情報公開条例第19条の規定に基づきまして公開となっております。また、協議会の議事録につきましては、後日、委員の皆様へ御確認をいただいた後、国保医療課のホームページにて公開いたしますので、御了承をお願いいたします。</p> <p>なお、本協議会の傍聴につきましては配布の傍聴要領に従っていただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、委員の皆様への出席状況を御報告いたします。本協議会の委員は11名でございます。本日は9名の委員の皆様へ御出席の報告をいただいておりますが現在8名の委員の皆様へ御出席をいただいているところです。</p> <p>過半数の委員の方へ御出席いただいておりますので、国民健康保険運営協議会条例第4条第2項の規定に基づきまして、本協議会が成立しておりますことを御報告いたします。</p>
2 あいさつ	
林副参事	<p>本来であればここで宮城県保健福祉部長の伊藤より御挨拶を申し上げるところですが、後程、委員の皆様への御礼と合わせて、改めて御挨拶を申し上げさせていただきます。</p>
林副参事	<p>それでは、今後の進行につきましては、小坂会長をお願いいたします。</p>
●署名委員指名	
小坂会長	<p>会長の小坂です。伊藤部長が外出先から現在こちらに向かっているところですので、議事を進めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、宮城県国民健康保険運営協議会運営要綱第5条第2項に定める会議録の署名委員を定めたいと思います。会議録署名委員として公益代表委員の木下淑恵委員に署名委員をお願いしたいと思いますが、木下委員よろしいでしょうか。</p>
木下委員(Web)	<p>はい。よろしくお願いいたします。</p>

小坂会長	<p>それでは木下委員と会長の私が会議録に署名することといたします。どうぞよろしくをお願いします。</p>
3 議題	
小坂会長	<p>それでは次第3の議題に移ります。令和3年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果等について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
柴田課長	<p>(資料1-1から資料1-3により説明)</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。遅れていた成田委員もいらっしゃいまして、出席予定者が全員揃いました。Webで参加の委員が2名いらっしゃいますが、前回の会議で、Webで参加した委員から、誰が発言しているのか分かりにくいという御意見をいただいているところがございますので、司会の方でもサポートしながら進めていきたいと思えます。発言する際には、氏名を名乗っていただいてから発言していただくように御協力よろしくお願いします。</p> <p>それでは、ただいまの事務局からの説明に対しまして、何か御質問等ございますでしょうか。</p>
小坂会長	<p>佐藤幸栄委員をお願いします。</p>
佐藤(幸)委員	<p>佐藤でございます。資料1-2ですが、昨年と同じ資料では、「事業費納付金」の「納付金額①」の部分には、令和元年度と令和2年度の2ヶ年分の各市町村納付金の記載がありましたが、今年度は令和3年度分のみ記載となっております。そこで確認させていただきたいのですが、令和2年度と令和3年度の納付金の金額を比較して、資料1-2の「伸び率(%)④」がプラスになった市町村が3団体であるが、資料1-1では納付金が増額となった市町村が5団体と記載されており、増額となった団体数が異なっています。実際に納付金額が増額となった市町村がどの市町村なのかを確認させていただきたいと思えます。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。今の御質問について、事務局から説明をお願いします。</p>
柴田課長	<p>先ほど資料1-1の3つ目の○の部分で、市町村の納付金総額については、30団体が減少し、5団体が増加という説明をさせていただいた5団体が、どこの市町村なのかという御質問かと思えます。</p> <p>昨年度の資料と今年度の資料の作り方が異なり、前年度との比較が出来ない資料の作りになっておりますので、この場で読み上げさせていただきます。</p> <p>5団体につきましては、白石市、蔵王町、七ヶ宿町、利府町、大衡村の5団体が増加したということになっております。</p>
佐藤(幸)委員	<p>ありがとうございました。そこで確認したいのですが、例えば、白石市の場合ですと資料1-2の表では、「1人当たり納付金額」が「伸び率(%)④」で0.62%減少しています。しかしながら、先ほどの説明では、事業費負担金が前年度よりも増</p>

	<p>えているという説明でした。また、資料1-2の26番の利府町は、事業費納付金と資料1-2の「伸び率(%)④」の両方とも前年度より増えています。このように事業費納付金が増えれば1人当たりの納付金額も増えるという認識でいましたが、白石市の場合は事業費納付金が増えているにもかかわらず、1人当たりの納付金額が減額となっています。蔵王町と七ヶ宿町も白石市と同じような状況にあります。先ほどお話をさせていただいた利府町と大衡村が同じように事業費納付金額と1人当たりの納付金額の両方が増えている状況にあり、市町村によって事業費納付金と1人当たりの納付金額の増減が異なった動きをしていることが理解できなかったため、その仕組みを教えていただきたいと思いました。</p>
小坂会長	<p>今の御質問について資料1-2を見ていきますと、女川町も事業費納付金の金額は減っていますが、逆に1人当たりの納付金額は増えている状況にあります。それでは事務局から説明をお願いします。</p>
柴田課長	<p>白石市でございますけれども、納付金総額は増加しております1人当たりの伸び率については減少となったということでございますが、白石市の場合は、被保険者数が令和2年度と令和3年度を比較しますと、約120人増えておりますので、1人当たりの納付金額にした時に金額が少なくなるというような数字のマジックのようなことが起きているところでございます。</p>
小坂会長	<p>そうしますと、他団体についても被保険者数によって変わってくるという説明でよろしいでしょうか。</p> <p>基本的に事業費納付金総額の増減の動きに対して、被保険者数の増減によって1人当たりの納付金額が逆の動きをする団体があるという理解でよろしいですね。</p>
柴田課長	<p>はい。白石市に関しては、被保険者が増えたことによって、逆転現象が起きているということでございます。</p>
小坂会長	<p>例えば蔵王町と七ヶ宿町については、白石市と同じということですね。</p>
柴田課長	<p>はい、そうです。</p>
小坂会長	<p>ただいまの説明でよろしいでしょうか。Webでの参加の委員の皆様も何かコメントございますでしょうか。</p>
藤代委員(Web)	<p>特にありません。</p>
木下委員(Web)	<p>特にありません。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。それでは令和3年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果等については、原案どおりということで特に修正なしでよろしいでしょうか。</p>

	(異議なし)
小坂会長	<p>ありがとうございます。それでは次に次第の4 報告事項に移ります。</p> <p>第2期宮城県国民健康保険運営方針の策定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
柴田課長	(資料2-1から2-5により説明)
小坂会長	<p>ありがとうございました。資料2-2については、前回の運営協議会で出た意見に基づいて修正したということで、数値の細かい修正と、24ページの「不要不急の受診を抑制する」という文言について、前回の運営協議会で長く議論した部分を変更したということです。それから、資料2-5については、市町村からいただいた意見についての修正で、1番については、資料2-2の1番と同様に数値の修正。2番については、第3期データヘルス計画に伴い、KDBシステムの活用を踏まえた同計画の連携・支援の追記を検討していただきたいという内容です。それから、3番については、宮城県後期高齢者医療広域連合及び関係団体との連携についての追記を検討いただきたいという意見をいただいておりますので、第3期宮城県国民健康保険運営方針の策定の際に検討させていただくという回答でございました。これについて、委員の方々から何か御意見等ございますでしょうか。</p> <p>We bで参加している委員の方々いかがでしょうか。</p> <p>藤代委員お願いします。</p>
藤代委員(Web)	<p>藤代です。今、御説明いただきました運営方針につきましては、お示しされた方向で決めていただければと考えております。その上での要望でございます。我々、協会けんぽ或いは健保組合等の被用者保険の事業主は、65歳から74歳の前期高齢者の加入者割合の調整ということで、先ほどの保険料の算定の中でもありましたけれども、多く納付金を負担しているということでもあります。翻ってみれば、我々、被用者保険の加入者もやがては国保の加入者として、またその後は後期高齢者医療制度の被保険者となるということで、それぞれの保険者或いは宮城県が一体となって医療費適正化や県民の健康づくりに向けて協力しながら取り組みを実施していく必要があるのではないかと考えております。</p> <p>そういったことから、資料2-3の24頁ですけれども、保険者協議会を活用して、保険者と医療提供側の意見交換の場を増やしていただくよう、国保からも宮城県が主導する保険者協議会事務局へ要望していただきたいと思っております。</p> <p>その上で、健康づくり或いは医療費適正化の連携を強化していきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。要望として申し上げさせていただきました。以上です。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございます。保険者協議会と連携していくのは当然のことだと思っておりますが、事務局の方から今の御要望に対して何かコメント等ございますでしょうか。</p>

柴田課長	<p>ただいま御指摘いただいた医療費の適正化に関する部分につきましては、運営方針の22頁以降に適正化の取り組みや今後の取り組みについて8項目記載しております。それから、保険者協議会に関しましても、今年度から事務局を県の健康推進課に置くこととし、保険者協議会としての体制強化及び活動を活発化して、各被用者保険者の方との連携強化を進めているところです。また、国保医療課で保険者協議会の幹事会に参画させていただいております、協議会の活動について国保サイドからも協力を強化していきたいと考えております。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。藤代委員いかがでしょうか。これまでもたばこ対策の連携など、いろいろな面で連携してきたと思いますが、より具体的な部分で、更に連携を強化していきたいところについて記載させていただきたいということなのかと思ったのですが、今の回答でよろしいでしょうか。</p>
藤代委員(Web)	<p>いろいろ事務レベルでの打ち合わせなどもしておりますので、その中で具体的な内容を検討し、連携強化できればと考えていますので、よろしくをお願いします。</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。ぜひ連携強化についてバージョンアップしていただきたいと思います。他の委員の方々からよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次第4 報告事項につきましては終了にしまして、続きまして次第5のその他に移ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
小坂会長	<p>よろしいでしょうか。それでは私の方からですが、本日が今年度最後の運営協議会となります。加えて、委員の任期が令和3年4月30日で満了となりますことから、このメンバーでの運営協議会も最後となります。各委員の皆様から県に対する要望などでも構わないということですので、一言ずつ御挨拶いただけないかと思えます。</p> <p>それでは鹿野委員からお願いします。</p>
各委員	<p>(挨拶)</p>
小坂会長	<p>ありがとうございました。それでは事務局の方にお返しします。</p>
林副参事	<p>ここで宮城県保健福祉部長の伊藤より、委員の皆様方に御礼の御挨拶を申し上げます。</p>
伊藤部長	<p>(挨拶)</p>
林副参事	<p>以上をもちまして、令和2年度第3回宮城県国民健康保険運営協議会を閉会いたします。長時間の御審議大変お疲れ様でございました。どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">【終了】</p>

会長署名 _____ 印

会議録署名委員署名 _____ 印